

ZEN

Universal Cement & Universal Bond

販売名:ZEN ユニバーサルセメント 一般的名称:歯科接着用レジンセメント 分類:管理医療機器 医療機器認証番号:305AKBZX00052000

販売名:ZEN ユニバーサルボンド 一般的名称:歯科用象牙質接着材 分類:管理医療機器 医療機器認証番号:305AKBZX00051000

■ご使用に際しては、必ず添付文書等をお読みの上、正しくお使いください。 ■製品の仕様、デザインにつきましては予告なく変更になることがあります。 ■掲載の色調は印刷のため実物とは異なります。

■ お問合せとご用命は…

■ 販売元



www.kulzer.co.jp

クルツァー ジャパン 株式会社

本社:〒113-0033 東京都文京区本郷4-8-13
TEL.03-5803-2151

大阪営業所:〒590-0982 堺市堺区海山町4-174

福岡営業所:〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-6-12

歯科接着用レジンセメント
ZEN ユニバーサルセメント

歯科用象牙質接着材
ZEN ユニバーサルボンド

使用マニュアル

Instruction manual

性能を100%引き出すため
必ずご一読ください

※ご使用前に必ず添付文書等をご覧ください

Table of contents

	Page
ZEN ユニバーサルシリーズの特長と利点	01-02
ZEN 被着体対照表	03
セルフアドヒーシブモードでの使用方法	
▶ 接着面が歯質/金属/ジルコニア/アルミナ等の金属酸化系セラミックスの場合	04
▶ 余剰セメントの除去	05
▶ コアの接着	06
アドヒーシブモードでの使用方法	
▶ 接着面が歯質/金属/ジルコニア/アルミナ等の金属酸化系セラミックス/レジン系材料/シリカ系ガラスセラミックス/歯科用陶材の場合	07
▶ コアの接着	08
ZEN ユニバーサルボンド 基本術式	09

ZEN ユニバーサルシリーズの特長と利点

Features and Benefits of ZEN Universal Series

この製品は「スーパーボンド」を開発したサンメディカルが“簡単な操作で高い接着力”を実現したユニバーサルシステムです。

また、ボンドを前処理材として使用することで、セットした補綴物を長期間にわたり審美性も維持しながら良好な状態を維持できます。

三井化学 × サンメディカルの新技術



新技術①

DIS (Double Initiation System)
歯面から高い重合反応が開始するので象牙質へ優れた接着性を示す



新技術②

High-PA Monomer
三井化学が開発した高強度モノマー



新技術③

LLS (ロングラスティングシラン)
酸性モノマーと共存しても劣化(加水分解)しにくいシラン剤

ZEN ユニバーサルセメント

新技術「DIS」配合で高い接着力を持つレジンセメントです。単体でも使用できます。



ZEN ユニバーサルボンド

「ZEN ユニバーサルセメント」の前処理材です。「High-PAモノマー」配合で、さらに接着性が向上し、「LLS」が劣化を防ぎます。



ZEN ユニバーサルシリーズの特長と利点

Features and Benefits of ZEN Universal Series

ZEN ユニバーサルセメント

セルフアドヒーシブモード・アドヒーシブモードのどちらでも高い接着力を発揮するレジンセメントです。



新規ミキシングチップを採用

デッドボリュームを 32% 減らすことが可能となりました。



ZEN ユニバーサルボンド

シンプルな操作フローで、「ZEN ユニバーサルセメント」用のプライマーとしても、歯質および各種材料の接着の前処理としても本材1本で完了します。



ZEN 被着体対照表

セルフアドヒーシブモード（「ZEN ユニバーサルセメント」のみ使用）とアドヒーシブモード（「ZEN ユニバーサルセメント」と「ZEN ユニバーサルボンド」を使用）ではご使用いただける被着体の種類が異なります。

下記の表をご参照ください。

ZEN ユニバーサルセメント・ZEN ユニバーサルボンドの対応表

被着体	セルフアドヒーシブモードとして使用する場合 (セメントのみ使用)	アドヒーシブモードとして使用する場合 (セメントとボンドを併用)
歯質 (エナメル質、象牙質)	✓	✓
金属	✓	✓
ジルコニア	✓	✓
アルミナ	✓	✓
ガラスセラミックス		✓
レジン系材料		✓
PEEK材		✓

- 1) 接着ブリッジ、ベニア、咬合ベニア（テーブルトップ）の症例には、通法に従いリン酸エッチングを行った上で、「ZEN ユニバーサルボンド」で前処理してください。
- 2) より高い接着力を必要とする場合（歯冠長が短い場合や保持形態付与が困難な場合）アドヒーシブモードとして使用してください。

ZEN ユニバーサルボンド 対応可能な被着体	エナメル質・象牙質・金属・ジルコニア・アルミナ・ガラスセラミックス・レジン系材料
---------------------------	--

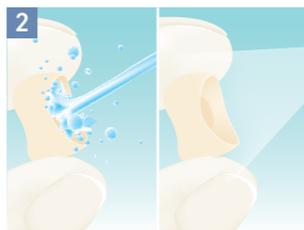
セルフアドヒーシブモード

「ZEN ユニバーサルセメント」のみ使用

接着面が歯質/金属/ジルコニア/アルミナ等の金属酸化物系セラミックスの場合



1 補綴物の前処理を行う
(サンドブラスト処理など)



2 歯面清掃
通法に従い清掃・水洗・乾燥



3 ペーストを気泡を巻き込まない
ように補綴物の接着面に塗布



4 または、ペーストを気泡を巻き込
まないように窩洞/支台歯に塗布



5 補綴物が動かないように押さ
えた状態で保持します

余剰セメントの除去



1 動かないように押さえた状態を
維持します



2 光重合で2~3秒
化学重合(放置)で3分~4分



3 最終硬化
光照射(各面): 10秒
※光不透過性補綴物の場合、10分保持

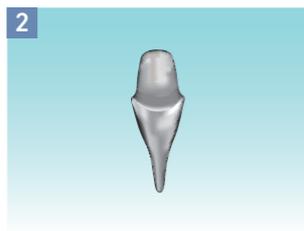
セルフアドヒーズモード

「ZEN ユニバーサルセメント」のみ使用

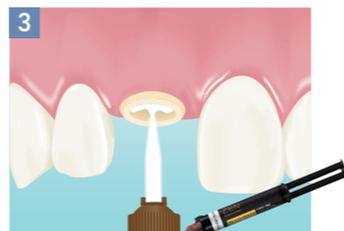
コアの接着



1
ポスト保持型の築造窩洞形成終了



2
通法に従いサンドブラスト処理



3
セメントを築造窩洞へ塗布



4
ペーストをコア築造体へ塗布



5
セメントを塗布した築造体を築造窩洞へ圧接する

アドヒーズモード

「ZEN ユニバーサルセメント」+「ZEN ユニバーサルボンド」を前処理として使用

接着面が歯質/金属/ジルコニア/アルミナ等の金属酸化系セラミックス/レジン系材料/シリカ系ガラスセラミックス/歯科用陶材の場合



1
「ZEN ユニバーサルボンド」を用いて補綴物の接着面を処理します



2
補綴物をエアで乾燥(水分/オイルを含まない)



3
「ZENユニバーサルボンド」を用いて支台歯を処理します



4
支台歯をエアで乾燥(水分/オイルを含まない)



5
「ZEN ユニバーサルセメント」を塗布します



6
補綴物が動かないように押さえた状態で保持します



7
光重合で2~3秒
化学重合(放置)で3分~4分



8
最終硬化
光照射(各面): 10秒
※光不透過性補綴物の場合、10分保持

ZEN Universal Cement & ZEN Universal Bond

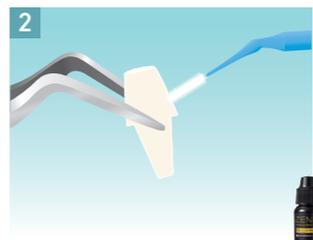
アドヒーズモード

「ZEN ユニバーサルセメント」+「ZEN ユニバーサルボンド」を前処理として使用

コアの接着



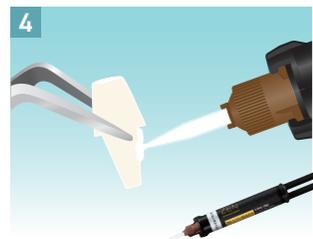
1 築造窩洞側に「ZEN ユニバーサルボンド」を塗布します



2 コア側にも「ZEN ユニバーサルボンド」を塗布します



3 築造窩洞側に「ZEN ユニバーサルセメント」を塗布します



4 コア側にも「ZEN ユニバーサルセメント」を塗布します



5 セメントを塗布した築造体を築造窩洞へ圧接する

ZEN Universal Bond

ZEN ユニバーサルボンド 基本術式



CR充填時の使用方法



1 「ZEN ユニバーサルボンド」塗布
待ち時間=0秒



2 ボンドが動かないまで、
緩やかなエアブロー



3 光照射 5秒

※直接修復には光照射後にCR (例えば、カリスマフロー) を充填し、メーカー指定の方法で重合させてください。
知覚過敏抑制、シーリングコーティング用途にご使用の場合には、光照射後にエタノール綿球で未重合層を除去してください。